

品番対照表 旧BASE ▶ 新BASE・他

新BASEに継続収録していない商品でも、XRクロスやXBクロスに収録中の場合がございますので、併せてご参照ください。

旧 18-20 BASE	新 20-22 BASE	19-21 XRクロス	17-21 XBクロス	旧 18-20 BASE	新 20-22 BASE	19-21 XRクロス	17-21 XBクロス	旧 18-20 BASE	新 20-22 BASE	19-21 XRクロス	17-21 XBクロス	旧 18-20 BASE	新 20-22 BASE	19-21 XRクロス	17-21 XBクロス
LB-9101	LB-9401	XR-309		LB-9126		廃番		LB-9151	LB-9443	XR-332		LBX-9176			XB-710
LB-9102	LB-9402	XR-308		LB-9127		廃番		LB-9152	LB-9449	XR-335		LBX-9177	LBX-9487		XB-711
LB-9103	LB-9406	XR-305		LB-9128		廃番		LB-9153	LB-9450			LBX-9178	LBX-9473		XB-721
LB-9104	LB-9407	XR-301		LB-9129	LB-9433	XR-327		LB-9154	LB-9452	XR-333		LBX-9179	LBX-9474		XB-722
LB-9105	LB-9405	XR-306		LB-9130		XR-324		LB-9155	LB-9453			LBX-9180			XB-723
LB-9106	LB-9411	XR-311		LB-9131		廃番		LB-9156	LB-9448	XR-336		LBX-9181			XB-726
LB-9107	LB-9412	XR-312		LB-9132		廃番		LB-9157		XR-337		LBX-9182	LBX-9475		XB-727
LB-9108	LB-9414	XR-325		LB-9133		廃番		LB-9158		廃番		LBX-9183			XB-730
LB-9109	LB-9422	XR-313		LB-9134	LB-9436	XR-341		LB-9159		廃番		LBX-9184			XB-731
LB-9110	LB-9424	XR-314		LB-9135	LB-9435	XR-342		LB-9160	LB-9460			LBX-9185			XB-736
LB-9111	LB-9425	XR-315		LB-9136	LB-9437	XR-343		LB-9161	LB-9461			LBX-9186			XB-737
LB-9112	LB-9427	XR-316		LB-9137		廃番		LB-9162		XR-346		LBX-9187			XB-739
LB-9113		廃番		LB-9138	LB-9438	XR-338		LB-9163	LB-9465	XR-347		LBX-9188	LBX-9488		XB-744
LB-9114		廃番		LB-9139	LB-9439	XR-339		LB-9164	LB-9466			LBX-9189			XB-745
LB-9115	LB-9415	XR-317		LB-9140	LB-9440	XR-340		LB-9165		廃番		LBX-9190			XB-746
LB-9116	LB-9416	XR-318		LB-9141		XR-345		LB-9166	LB-9468			LBX-9191	LBX-9492		XB-750
LB-9117	LB-9417	XR-319		LB-9142		廃番		LB-9167	LB-9469	XR-348		LBX-9192	LBX-9493		XB-751
LB-9118	LB-9418	XR-322		LB-9143		廃番		LB-9168	LB-9470			LBX-9193			XB-752
LB-9119	LB-9419	XR-321		LB-9144		XR-344		LB-9169	LB-9471	XR-349		LBX-9194	LBX-9497		XB-753
LB-9120	LB-9420	XR-320		LB-9145	LB-9441	XR-334		LB-9170	LB-9472	XR-350		LBX-9195	LBX-9499		XB-754
LB-9121	LB-9421	XR-323		LB-9146	LB-9447	XR-328		LBX-9171	LBX-9476		XB-701	LBX-9196	LBX-9495		XB-756
LB-9122	LB-9413	XR-326		LB-9147	LB-9444	XR-330		LBX-9172	LBX-9477		XB-702	LBX-9197			XB-757
LB-9123		廃番		LB-9148		廃番		LBX-9173			XB-704	LBX-9198	LBX-9496		XB-758
LB-9124		廃番		LB-9149	LB-9442	XR-329		LBX-9174	LBX-9478		XB-705	LBX-9199			XB-759
LB-9125		廃番		LB-9150	LB-9446	XR-331		LBX-9175	LBX-9486		XB-709	LBX-9200			XB-760

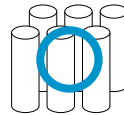
取扱上のご注意

商品選択上のご注意

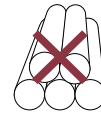
- 建築物の内装仕上げは、建築基準法により防火上の基準が定められており、建築物の用途や規模・構造に応じて防火材料の使用が義務づけられています。壁紙の防火性能は、下地基材や施工方法との組合せによって決まりますので、事前に必ずご確認ください。
- 製造ロットの違いにより、見本やサンプル帳と実際の商品が若干異なる場合があります。
- 改良その他の事情により、予告なく仕様変更を行なうことがあります。また、生産中止などにより供給不能となる場合があります。
- ビニル壁紙は、リピート表示のない商品でも基本的にある単位と同じ柄の繰り返しで出来ています。このため、見る角度や光の当たり方によって微妙な凹凸の繰り返しが目立つ場合があります。これは製法上の特徴であり、現在の技術では完全に防ぐことはできません。
- 表面の凹凸が少ない商品は、ジョイント部が比較的目立ちやすい傾向があります。塗装と異なり、つなぎ合わせて施工する壁紙である限り避けることのできない商品特性です。あらかじめご了承ください。

施工上のご注意

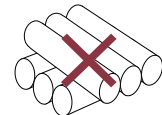
- ロット違いでは色差が生じる場合がありますので、同一ロット品を使用し、できれば一巻きの至近の箇所同士を張り合わせてください。
- 商品はタテ置きで保管してください。ヨコ積みや井桁積みは置き跡がつきやすく、光沢差やエンボスつぶれの原因となります。



タテ置き



ヨコ積み



井桁積み

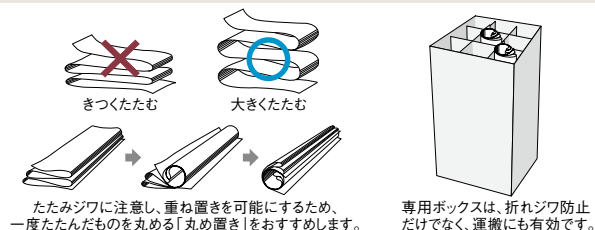
下地の調整

- 必ず下地と同色のパテをご使用ください。下地と異なる色のパテでは、施工後、下地の色が透けて見える場合があります。また、下地からの影響を防ぐために文字や汚れはきれいに落としてください。
- 施工後の不陸を防ぐため、下地は平滑に仕上げてください。また、ネジ・クギ類は施工後の変色を避けるため、突起を完全に沈め、サビ止めをしてください。
- ベンキ・コンクリート・モルタル・木質系下地の場合は、それぞれ専用のシーラーで必ず下地処理をしてください。特にベニヤなどの木質系下地に直接施工した場合、時間がたつとシミや変色の原因になります。シーラーは、接着不良や変色を防ぎ、リフォーム時に剥がしやすくします。
- コンクリートやモルタルなどの湿式下地、およびシーラー、パテを施した箇所は十分に乾燥(目安として水分率11%以下)してから施工を開始してください。乾燥が不十分な場合、壁紙の変色・剥がれ・カビが発生することがあります。
- オイルステイン、ニスなどを使用している下地や近接した場所への施工は避けてください。変色の原因になります。
- 張り替え時、下地にカビが発生している場合は、十分にカビを殺菌し、乾燥させてから施工してください。
- 張り替え時、下地面に残った裏打紙(残紙)は剥がしてから施工してください。残紙が浮いたままでは施工すると目隠などの原因になります。

取扱上のご注意

施工糊と施工環境について

- 冬期など低温時には壁紙が硬くなり施工しにくくなる傾向があります。状況に合わせて接着剤の配合やうませ時間を調整したり、部屋を暖めるなどの配慮をお願いします。特に5℃以下の環境では糊の接着力が弱く、施工不良の原因になりますので、施工糊の注意事項を必ず守ってください。
- 壁紙の品種や室内環境に応じて、適切なオープンタイムを取ってください。施工を容易にするとともに、フクレの発生を防ぎます。また、壁紙をきつく折りたたんだり、湾曲部に荷重がかからないようにしてください。折れジワが発生し、元に戻らない場合があります。



張り付け

- 壁紙は必ず有効巾でご使用ください。重ねしろは有効巾に含まれません。有効巾を超えた使用は、左右色違い等の原因となります。
- 柄合わせを要する商品は、柄合わせマーク同士を目安に、柄を確認しながら施工してください。商品特性上、左右の柄合わせマーク位置の僅かなズレや柄合わせマークがない場合もありますので、ご了承ください。「無地貼可」表示は、柄合わせの方が美しく仕上がりますが、柄合わせしなくても柄のズレが比較的目立ちにくい商品を意味しています。
- ジョイント位置は、端部同士で施工してください。両端部と中央部では、色差が生じる場合があります。また、窓の上下など一部だけを横張りをする、と、色違いが生じますので、必ず同じ方向で張ってください。
- 表面の凹凸が少ない商品はジョイント部が比較的目立ちやすい意匠特性があります。突き付け施工でジョイントが目立ちやすい場合は、重ね断ち施工をおすすめします。
- ジョイント部をカットする際は、目隙を防ぐため、必ずカッターの刃をまっすぐに入れてください。また、地べらを使った重ね切りは避け、定規をご使用ください。地べらを使うと切り口が斜めになり目隙の原因になります。石膏ボード下地の場合、カットの際は下敷きテープをご使用ください。カッターで石膏ボードの原紙まで切り込むと目隙の原因となります。また、ボードの継ぎ目付近ではジョイントしないでください。仕上がりに支障をきたすことがあります。
- 商品検査には十分配慮しておりますが、念のため三巾ほど施工した時点で問題のないことをご確認ください。明らかに製品に欠陥があると判断された場合には、ただちに作業を中断し当社までご連絡頂けますようお願い申し上げます。三巾以降相当量の作業を進行した場合、施工費賠償の請求、商品の返品等は原則としてお受けいたしかねますのでご了承ください。
- ボードやパネル下地の継ぎ目をまたいで壁紙を施工すると、入隅にフクレやよじれ・割れなどが発生する場合があります。これは、建物の構造上継ぎ目が振動の逃げ場になっているため、避けることは出来ません。できるだけ入隅で壁紙をジョイントすることをおすすめします。

養生

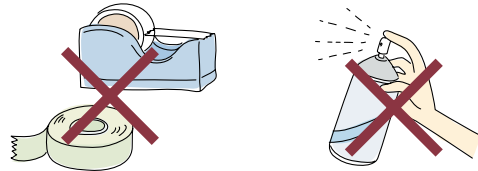
- 粘着性の強いマスキングテープの使用は避けてください。テープの粘着剤が壁紙に固着し、変色や汚れの原因になります。また、テープを剥がす時に壁紙表面が破損する恐れがあります。
- 壁紙の表面や廻り縁などに糊、汚れがつかないように注意して施工してください。拭き取る際は、きれいな水に頻繁に替えながら濡れスポンジで丁寧に拭き取り、更にきれいなタオルで拭き取ってください。特に濃色の壁紙の場合は、やさしく丁寧に拭き取った後、乾拭きせずに自然乾燥させてください。乾拭きで強くこすると傷や白化が起きやすくなります。また、糊が付着したまま放置すると、カビや変色の原因になります。

使用上のご注意

壁紙は色や柄などの意匠性を重視した化粧仕上げ材ですから、コンクリートなど他の建材と異なり、10～20年といった長期間に渡る維持は期待できません。したがって、ある程度の期間はメンテナンスを行ない、次いで張り替えるという使い方が、壁紙の価値を活かす最適な方法です。壁紙は室内のホコリや油汚れ・手垢などにより自然と徐々に汚れていきます。仕上がりの美しさを維持していただくためにも、使用上の注意とメンテナンスにご配慮ください。壁紙の耐用年数は、使い方次第で大きく異なってくるものです。

一般的注意事項

- 施工時の臭いが残っている場合がありますので、入居後一週間程度は十分に換気を行なってください。
- 直射日光が当たると、紫外線により色褪せがしやすくなります。部屋を使用していないときは、カーテンやブラインドを活用し、直射日光を避けるよう心がけてください。
- ストープなど暖房器具の熱風が直接壁紙に当たらないようにしてください。また、キッチンのレンジやダウンライトのすぐ近くなど、高温になる場所への使用は避けてください。熱により壁紙が変形、変色することがあります。
- 粘着テープ(セロハンテープやガムテープなど)を壁紙に貼らないでください。テープの粘着剤が壁紙に移行し、変色や汚れの原因となります。また、粘着テープを剥がす時に壁紙を破損することがあります。
- スプレー式の薬品、殺虫剤、化粧品を壁紙に吹き付けしないでください。壁紙が変色することがあります。
- 家具の塗料に含まれる色素やベニヤの色素により、壁紙が変色することがあります。家具と壁紙の間は空間の余裕をとってください。空間を設けることは、変色だけでなく結露やカビの予防にもなります。
- 室内空気の汚れ(ホコリ、タバコ、キッチンからの油煙など)は、壁紙を短時間で黄変させてしまいます。特に壁紙のジョイント部は、壁裏面との通気口となりやすく、壁紙表面と比較し空気の流れが集中するため汚れが目立つ場合があります。できるだけ室内の換気を心がけてください。



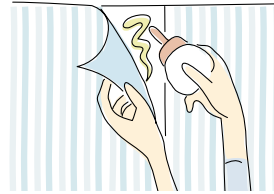
ホコリや汚れ

- ホコリは、時々ハタキをかけたり電気掃除機などで吸い取ってください。ホコリや汚れを放置しておきますと、湿気や油分を吸って取りにくくなりますので、長時間放置しないようにしてください。汚れには多種多様なものがあり、種類や放置時間によって除去できない場合があります。
- ビニル製の壁紙は、一般的に吸湿性や通気性がほとんどないので、シミやホコリには強く、手垢や油汚れには比較的弱いというのが特徴です。数ある壁紙の素材の中でもメンテナンス性に優れた部類にあり、軽い汚れなら水拭きや洗剤で落とすことができます。但し、汚れ防止壁紙と異なり、頑固な汚れは落とせません。
- 飲食物や調味料などの水汚れは、直ちにかたく絞ったスポンジやタオルで汚れを吸い取るように拭き取ってください。最初から強くこすると、汚れが染み込んだり広がることがありますので注意しましょう。落ちにくい場合には中性洗剤をご使用ください。出来るだけ早急に対処することが汚れを落とすコツです。拭き掃除が終わりましたら、必ず真水かぬるま湯で洗剤が残らないようきれいに拭き取ってください。洗剤の拭き残しは変色の原因になります。
- 強い洗剤やシンナーなどの有機溶剤は、変色や表面破損の原因になりますので使用しないでください。張り合わせ部分に水が入ると剥がれの原因になりますのでご注意ください。壁紙を拭く場合はあまり強くこすらないでください。壁紙表面が破損することがあります。

使用上のご注意

部分的な剥がれのメンテナンス

- 時間の経過と共に部分的な剥がれが生じる場合があります。きれいに補修するコツはできるだけ早く対処することです。剥がれてから時間が経ったものや、劣化して固くなったものは補修が困難になります。
- 剥がれが広がる前に下地の汚れを取り去り、木工用水性接着剤など強めの接着剤を壁紙裏面に塗り付け、十分圧着してください。
- 特に部屋のコーナー部、サッシや水のかかりやすい洗面台の周囲、通気の悪い箇所などは注意しておきましょう。このような場所には、あらかじめコーキングで枠回りをコーキングしておけば、ある程度剥がれを防ぐことができます。



カビ

- カビは見た目の悪さの問題だけでなく、アレルギーや喘息など、病気の原因になることがありますので注意が必要です。カビの発生や繁殖を抑制する「防かび」壁紙もありますが、壁紙単体でカビの発生を防ぐことは不可能です。カビは住宅の構造や生活環境に大きく影響を受けます。常に換気を心がけ、通風を良くし、湿度の上昇をおさえてください。
- カビが大量に発生してしまった場合は、ハウスクリーニング会社などにご相談ください。

結露

- 結露や過度の湿気は、シミ・剥がれ・カビの原因となりますので、室内の換気や湿度調整を心がけてください。
- 常に換気を心がけ、発生した水蒸気を外へ排出してください。特に浴室や調理時の水蒸気などは換気扇を利用して排出してください。除湿機、吸湿剤などを活用し、余分な水蒸気を除去することも有効です。
- 家具裏などの隙間に余裕を取り、家全体の空気の流れをよくする工夫をしてください。
- 室内と外気の温度差が激しい冬は結露しやすい時期です。加湿器を使用した後は特に結露しやすくなります。換気や除湿に十分に注意しましょう。外に面した室内の壁が異常に結露する場合は、断熱材の不足や不備、建物自体の構造の問題が考えられますので、早めに対処しましょう。

